



五中だより

令和 8 年 5 月 1 日
小平市立小平第五中学校
校長 相澤 史彦
小平市小川町 1 - 7 9 8

地域の支えと共に

校長 相澤 史彦

正門前の銀杏の葉も日ごとに緑を深めています。新しい環境で慌ただしく過ぎた4月が終わり、明日からは5連休に入ります。生徒の皆さんも、少しほっとできる時間を過ごせることでしょうか。

五中に赴任して1か月弱、日々多くのことを感じています。始業式・入学式で見せてくれた生徒の皆さんのしっかりした態度、授業に向かう真剣な姿勢、どれも素晴らしいものです。学年集会での先生方の言葉や便りからも、生徒一人一人を大切にする思いが伝わってきます。また、廊下や部活動で声をかけた際、素直で時に茶目っ気のある生徒の返答に、私自身何度も元気をもらいました。

そして強く感じているのは、地域の方々の力強いサポートです。正門を入ると、色とりどりの季節の草花が来校者を迎えてくれます。正門横の小道沿いにも花々が咲き、天候や時間帯によってさまざまな表情を見せてくれます。晴れた日の花壇は特に鮮やかで、思わず写真を撮ったほどです。毎日の登下校で目にするこの環境は、生徒の心に良い影響を与えていると感じます。これらの植物は、地域教育コーディネーターをはじめとする学校支援ボランティアの皆様が日々手入れをしてくださっています。3月に初めて来校した日も、また休日にも、剪定や水やりをする姿がありました。4月15日の放課後学習教室には、生徒8名に対し9名のボランティアが参加し、1対1で支援していました。17日に訪れた個別学習室「ほっとるーむ」では、CS委員の方が朝から授業終了まで、生徒一人一人に寄り添い続けていました。決して当たり前ではない光景が、当たり前のように広がっていました。

こうした地域の皆様の関わりは、義務ではなく、「五中の生徒のために」という温かい思いから生まれています。お話を伺うと、ご自身やお子さんが五中の卒業生であるなど、本校とのつながりを持つ方が多いこともわかりました。楽しみながら積極的に関わる姿に、持続可能な活動としての力強さを感じています。この大きな支えに感謝し、「地域と共にある学校」という五中の強みを、今後の学校経営に活かしていきます。在校生が卒業後も母校として誇りと愛着を持ち、将来も関わり続けることができるような、地域に愛される学校づくりを進めてまいります。

生徒は入学・進級からここまで、新しい環境で毎日を精一杯過ごしてきたことと思います。この大型連休で心も身体もリフレッシュし、連休明けに備えられると良いです。保護者の皆様も良いゴールデンウィークをお過ごし下さい。

お子様のスマートフォン等の使い方について

近年子どものスマートフォンやタブレットの所持率が高まり、そのことによる様々な課題が生じています。本校では「よりよい使い方、より効果的な使い方」を念頭に、学習者用端末の活用について年間を通じて指導しています。しかしながら例年、スマートフォン、それを使用した SNS でのトラブルが絶えません。

この時期に、あらためてご家庭でも以下のことを踏まえ、お子さんとよく話し合ってください。スマートフォンやタブレットを「よりよい使い方」を意識して使えるよう、ご指導をお願いします。

(1) 目的や使い方について

スマートフォンやタブレット等の端末を与える目的や使い方は様々ですが、お子様には「所有者は本人ではなく保護者である」ことを伝え、使用ルールやマナーについて今一度ご指導ください。

(2) 自身や他の人の情報の扱いについて

法に定められたルールやトラブル事例を基にした自衛策に従って情報を扱うことが、犯罪やトラブルに巻き込まれないために大切です。以下の点を参考にしてください。

- ・自身や他の人の個人情報や、個人情報の特定につながる情報を安易に出さない。
(例 居住地域、年齢、家族構成、位置情報、写真の背景、写真の撮影日時 等)
- ・他の人を勝手に撮影しない、許可を得て撮影した場合でも勝手にネットに載せない。
- ・他の人について聞いた噂などを SNS グループに流さない。
- ・関係する人がトラブルに巻き込まれていることなどを知ったらすぐに大人に知らせる。

(3) SNS の使用について

連絡の手段、コミュニケーションの手段として使い始めることが多い SNS ですが、毎年トラブルが起きています。ご家庭で定期的に使用状況を確認し、不適切な使用が分かった場合にはすぐに使用を止めることや、関係の家庭間で連絡を取り、直接会って話すなどして解決することが必要です。

(起こりやすいトラブル)

- ・グループ内での参加者、参加していない人への悪口等
- ・グループ内での話を「〇〇が△△と書いていた」と伝える行為
- ・グループから突然外す行為

スマートフォンやタブレットは、使い方次第で多くの可能性をもつ機器です。一方で「何のために」持つのか(持たせるのか)に立ち返る機会はありません。またインターネットは多くの情報とつながることができ、可能性と同時に危険性を併せもつ世界です。よりよい使い方を大人も一緒に考えていけるよう、ご家庭のご理解とご協力をお願いします。

自転車の乗り方について

小平市立学校は通学や部活動での自転車利用を禁止しています。一方で学校外では自転車に乗ることが多くあることと思います。4月に「交通反則通告制度(青切符制度)」が始まり、マスコミ等でも自転車のルールやマナーについて取り上げられています。以下にいくつかピックアップしますので、ご家庭でもこの機会にお子様とご確認ください。

- ・定期的な整備はしていますか？(ブレーキや灯火類など安全に乗るための整備が大切です。)
- ・自転車保険には加入していますか？(加害者となり多額の賠償金が発生することがあります。)
- ・ヘルメットは着用していますか？(自転車事故による致死率は非着用が着用の2.3倍もあります。)
- ・道路の左側を通行していますか？(自転車は原則道路の左側を通行します。右側通行は逆走です。)
- ・「ながらスマホ」はしていませんか？(前が見えず非常に危険です。違反行為となります。)